

Committee Symposium

Thu. Jul 9, 2026 1:20 PM - 2:20 PM JST | Thu. Jul 9, 2026 4:20 AM - 5:20 AM UTC | Room2 (Conference Hall B1)

[CSY1] 委員会企画シンポジウム 1 (I-CSY1)

次世代育成プロジェクト：これまで分かったこと、これからの課題

座長:中野 俊秀(福岡市立こども病院)

座長:瀧間 浄宏(長野県立こども病院循環器 小児科)

[I-CSY1-04] 地域拠点化プロジェクトのこれまでと今後

○瀧間 浄宏¹, 平野 暁教², 中野 俊秀³, 落合 由恵⁴, 笠原 真悟⁵, 帆足 孝也², 平松 祐司⁶, 芳村 直樹⁷, 宮地 鑑⁸, 小田 晋一郎⁹, 櫻井 一¹⁰, 鈴木 孝明², 坂本 喜三郎¹¹ (1.長野県立こども病院 循環器小児科, 2.埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科, 3.福岡市立こども病院 心臓血管外科, 4.JCHO九州病院 心臓血管外科, 5.岡山大学 心臓血管外科, 6.筑波大学 心臓血管外科, 7.富山大学 心臓血管外科, 8.北里大学病院 心臓血管外科, 9.京都府立医科大学外科学教室心臓血管・小児心臓血管外科学部門, 10.名古屋大学 心臓血管外科, 11.静岡県立こども病院 心臓血管外科)

Keywords：地域拠点化小委員会、地域拠点化、集約化

日本小児循環器学会、日本心臓血管外科学会、および日本胸部外科学会の3学会は、「先天性心疾患の手術を行う施設の集約化（地域拠点化）に関する提言」を発出した。本提言は、各地域における治療のクオリティーコントロールと次世代医療者の育成を目的とし、年間150例以上の手術症例数、独立したPICU（小児集中治療室）の設置、および十分なスタッフを擁する多職種ハートチームの構築を目標に掲げたものである。しかし、2025年に全国9ブロックで開催された「地域グループミーティング」を通じて現状を調査した結果、小児心臓外科医の偏在やPICU体制の地域格差、人的交流の困難さなど、提言が求める体制を全国へ即座に展開するには、克服すべき課題が多いことが明らかとなった。これを受け、地域拠点化小委員会では、新しい「地域拠点化指針」（案）を考案した。3学会による提言の理念を堅持しつつも、わが国の小児心臓血管外科診療の実情に即した、より現実的かつ実行可能な要件を組み込んだものである。わが国の高度な心臓血管外科診療体制を将来にわたって維持するためには、本指針において定義した「拠点病院等」（案）に基づいた学会認定も視野に入れ、実効性のある認定制度等の体制構築が必要ではないと思われる。まだ案の段階ではあるが、このような制度運用を通じて、難易度の高い最重症例を拠点病院等へ集め、同時に、各施設間における積極的な患者紹介・受け入れ、技術的・人的支援、および育成プログラムの共有を強力に推進し、地域全体で強固な協力体制を確立しなければならないと考える。